

鷗外 漱石、作品年表比較

文久2年	1862	1 津和野に生まれる	慶応3年	1867 江戸に生まれる
明治5年	1872	11 進文学社でドイツ語学ぶ		
明治10年	1877	16 東京大学医学部本科生となる		
明治14年	1881	20 20歳 東大卒一→陸軍軍医に 文部省官費留学断念		
明治17年	1884	23 23歳~27歳 ドイツ留学 衛生学、医学、自然科学、社会思想、哲学、文学 ドイツ人女性エリーゼ・ヴァイゲルトとの自由な恋愛を断念		
明治21年	1888	27 帰国、医学校教官、結婚、1年後離婚、不毛の医学論争		
明治23年	1890	29 舞姫	明治23年	第1高等学校学生
明治25年	1892	31 本郷駒込に観潮楼を立てる		
明治27年	1894	33 日清戦争(満州出征)	明治26年	1903 27歳 東大の文科大学卒一→教師へ
明治32年	1899	38 文学者鷗外と軍医森林太郎の両立困難を悟る。小倉転勤、再婚 小倉日記、鷗外漁史とは誰ぞ		松山、熊本赴任へ
明治35年	1892	40 第一師団軍医部長、東京へ	明治33年	1900 34歳~37歳、英国留学 英文学
明治37年	1904	43 日露戦争(第二軍軍医部長満州出征)		
			明治38年	1905 吾輩は猫である 坊っちゃん 草枕
		反自然主義的文学志向		
明治40年	1907	46 11月、陸軍軍医総監、陸軍省医	明治40年	1907 3月、第一高等学校や東京大学の教師退職 朝日新聞社入社 虞美人草 杭夫
		創作、翻訳(即興詩人)など本格的な文学活動		
明治42年	1909	47 独逸日記、戦争論 半日(小説の世界に復帰)	明治41年	1908 三四郎
		イタ・セクスアリス	明治42年	1909 それから
明治43年	1910	48 青年(恋愛と性、人生いかに生く)	明治43年	1910 門
明治44年	1911	49 妄想 雁	明治44年	1911 (伊豆修善寺の大患)
明治45年	1912	51 かのよう	明治45年	1912 彼岸過迄

大正2年	1913	52 阿部一族 大塩平八郎、安井夫人 山椒大夫、じいさんばあさん	大正2年 大正3年 大正4年 大正5年	1913 行人 1914 ころも 1915 道草 1916 明暗
大正5年	1916	55 高瀬舟、寒山拾得		
		陸軍を引退、55歳 サラリーマン定年の必然、虚脱感、寂寥感 枯淡の境地ではなく、空虚、虚無からの脱出。 史伝 渋江仲斎(毎日新聞連載) 歴史、文学、哲学的作品		49歳、没
大正6年	1917	56 史伝 伊沢蘭軒		
大正11年	1922	61 没、61歳		